

学校自己評価アンケートの結果から ご協力ありがとうございました

学校では毎年、学校運営の成果や課題を検証し改善の方向を明らかにして次年度に生かすことを目的に学校自己評価を行っています。本年度も学校が目指す重点目標に照らして、保護者・職員・子どもの三者に同じ内容の質問に答えていただきました。三者の受け止め方を比較し今後の学校運営に生かしていこうと考えます。結果を集計しましたので報告させていただきます。

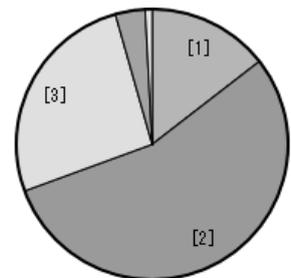
グラフの見方

- 丸番号はアンケートの質問事項 ()は児童向けの質問。
- グラフ中の数字は%を示す。
- 円グラフ凡例 [1]いつもそう思う [2]だいたいそう思う [3]あまりそう思わない [4]全く思わない [5]わからない
- 肯定率は[1]「いつもそう思う」[2]「だいたいそう思う」を合算した数字を示す

1 学校や地域であいさつができています

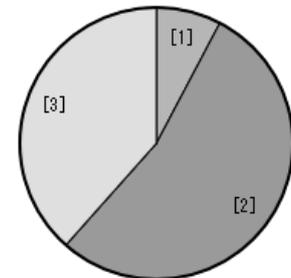
保護者

No. ▲	選択肢	選択数	%	グラフ	凡例色
1	1 そう思う	53	14.5%	<div style="width: 14.5%; height: 10px; background-color: #cccccc;"></div>	
2	2 まあそう思う	201	54.9%	<div style="width: 54.9%; height: 10px; background-color: #cccccc;"></div>	
3	3 あまりそう思わない	96	26.2%	<div style="width: 26.2%; height: 10px; background-color: #cccccc;"></div>	
4	4 そう思わない	13	3.6%	<div style="width: 3.6%; height: 10px; background-color: #cccccc;"></div>	
5	5 わからない	3	0.8%	<div style="width: 0.8%; height: 10px; background-color: #cccccc;"></div>	
合計		366	100.0%		



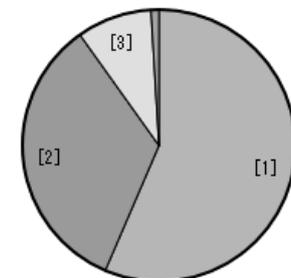
職員

No. ▲	選択肢	選択数	%	グラフ	凡例色
1	1 そう思う	2	7.7%	<div style="width: 7.7%; height: 10px; background-color: #cccccc;"></div>	
2	2 まあそう思う	14	53.8%	<div style="width: 53.8%; height: 10px; background-color: #cccccc;"></div>	
3	3 あまりそう思わない	10	38.5%	<div style="width: 38.5%; height: 10px; background-color: #cccccc;"></div>	
4	4 そう思わない	0	0.0%	<div style="width: 0.0%; height: 10px; background-color: #cccccc;"></div>	
合計		26	100.0%		



児童

No. ▲	選択肢	選択数	%	グラフ	凡例色
1	1 いつもしている	241	56.4%	<div style="width: 56.4%; height: 10px; background-color: #cccccc;"></div>	
2	2 ほとんどしている	144	33.7%	<div style="width: 33.7%; height: 10px; background-color: #cccccc;"></div>	
3	3 あまりしていない	38	8.9%	<div style="width: 8.9%; height: 10px; background-color: #cccccc;"></div>	
4	4 ぜんぜんしていない	4	0.9%	<div style="width: 0.9%; height: 10px; background-color: #cccccc;"></div>	
合計		427	100.0%		



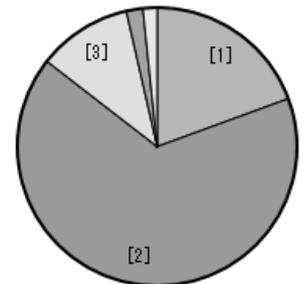
- 児童は肯定率が 56.4%と高く「あいさつができています」と考えている。しかし、仲の良い友だちや自分に関係のある先生、顔見知りの保護者に挨拶をただけで満足している可能性が高いと思われる。保護者や職員は児童からの挨拶の少なさが気になっていると考えられる。
- 昨年度と比較すると、職員の肯定率が 27%から 61%へ、保護者の肯定率が 60%から 69%へと上がっている。児童会の各教室を回ってあいさつをする積極的なあいさつ当番の取組の成果が見られる。
- 友だちと話しに夢中になるとあいさつの返答率が悪くなる傾向が見られる。委員会の当番活動を盛んにしたり職員が旗振り当番をしたりして、より意識させていく必要がある。

2 誰とでも仲よく しようとしている



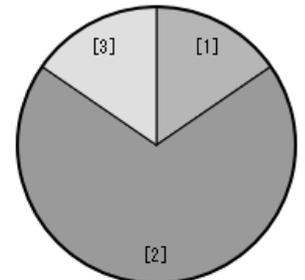
保護者

No. ▲	選択肢	選択数	%	グラフ	凡例色
1	1 そう思う	71	19.4%		
2	2 まあそう思う	242	66.1%		
3	3 あまりそう思わない	40	10.8%		
4	4 そう思わない	7	1.9%		
5	5 わからない	6	1.6%		
合計		366	100.0%		



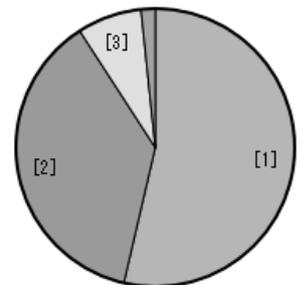
職員

No. ▲	選択肢	選択数	%	グラフ	凡例色
1	1 そう思う	4	15.4%		
2	2 まあそう思う	18	69.2%		
3	3 あまりそう思わない	4	15.4%		
4	4 そう思わない	0	0.0%		
合計		26	100.0%		



児童

No. ▲	選択肢	選択数	%	グラフ	凡例色
1	1 いつもしている	229	53.6%		
2	2 ほとんどしている	159	37.2%		
3	3 あまりしていない	32	7.5%		
4	4 ぜんぜんしていない	7	1.6%		
合計		427	100.0%		



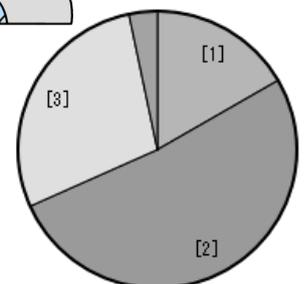
- 児童の肯定率が91%ととても高い。職員・保護者の肯定率は70%台半ばにとどまっている。児童は「仲良くしている」と思っている。しかし、大人の目線で見ると仲良くしているようには感じられず、児童との意識の差がみられる。
- 「あまりそう思わない」「そう思わない」児童も9%いる。また、「あまりそう思わない」「そう思わない」保護者も12.8%いる。その児童たちの様子をていねいに観察したり、相談したりしながら対応していく必要がある。



3 整理整頓を心がけものを大事にしようとしている

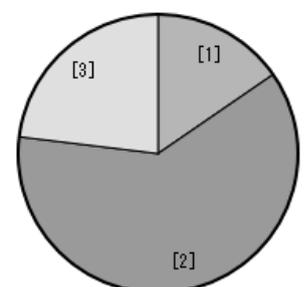
保護者

No. ▲	選択肢	選択数	%	グラフ	凡例色
1	1 そう思う	61	16.7%		
2	2 まあそう思う	189	51.6%		
3	3 あまりそう思わない	104	28.4%		
4	4 そう思わない	12	3.3%		
5	5 わからない	0	0.0%		
合計		366	100.0%		



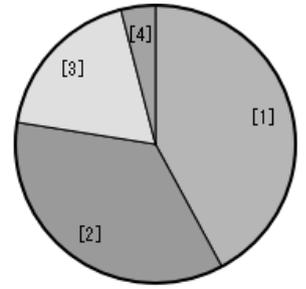
職員

No. ▲	選択肢	選択数	%	グラフ	凡例色
1	1 そう思う	4	15.4%		
2	2 まあそう思う	16	61.5%		
3	3 あまりそう思わない	6	23.1%		
4	4 そう思わない	0	0.0%		
合計		26	100.0%		



児童

No. ▲	選択肢	選択数	%	グラフ	凡例色
1	1 いつもしている	180	42.2%		
2	2 ほとんどしている	151	35.4%		
3	3 あまりしていない	79	18.5%		
4	4 ぜんぜんしていない	17	4.0%		
合計		427	100.0%		

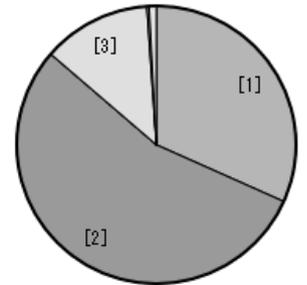


- 児童の肯定率のみ 80%近くに達しているが、直接「ものを大事にしているか」という質問ではなく、「整理整頓をしているか」という質問であるため、保護者や職員よりも上回っていると思われる。
- 職員は、落とし物がたくさんあることで、「あまり大事にしていない」と評価している。保護者は児童と職員の間での結果であり、家庭での様子で評価していると考えられる。
- 大人から見て「物を大事にしていない」と思える子が約3割いるのは、多いと捉えるべきである。記名はもちろんのこと、日ごろの指導においても物を大切にすることに目を向けるべき点であると考えられる。

4 最後まで頑張ろうとしている（そうじを時間いっぱい頑張っている）

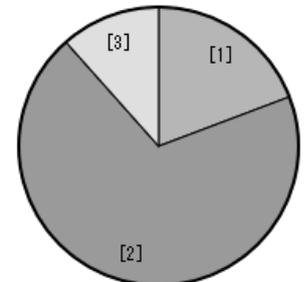
保護者

No. ▲	選択肢	選択数	%	グラフ	凡例色
1	1 そう思う	116	31.7%		
2	2 まあそう思う	200	54.6%		
3	3 あまりそう思わない	48	12.6%		
4	4 そう思わない	1	0.3%		
5	5 わからない	3	0.8%		
合計		366	100.0%		



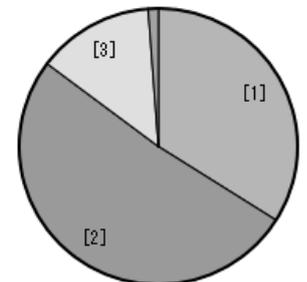
職員

No. ▲	選択肢	選択数	%	グラフ	凡例色
1	1 そう思う	5	19.2%		
2	2 まあそう思う	18	69.2%		
3	3 あまりそう思わない	3	11.5%		
4	4 そう思わない	0	0.0%		
合計		26	100.0%		



児童

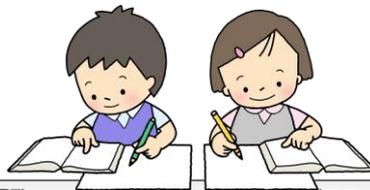
No. ▲	選択肢	選択数	%	グラフ	凡例色
1	1 いつもしている	145	34.0%		
2	2 ほとんどしている	219	51.3%		
3	3 あまりしていない	58	13.6%		
4	4 ぜんぜんしていない	5	1.2%		
合計		427	100.0%		



- 児童の場合は、学校の清掃の時間に限って質問しているため、清掃を集中して取り組めていない子が 14.8%もいると捉えていいと思う。
- 保護者の場合は、お手伝いの場面での評価が多いのではないかと考えられる。そのため、肯定率が 86.3%と高い結果を示した。
- 職員の場合は、係活動や当番活動など清掃以外の場面も加味して評価しているので、肯定的な評価となっていると考えられる。

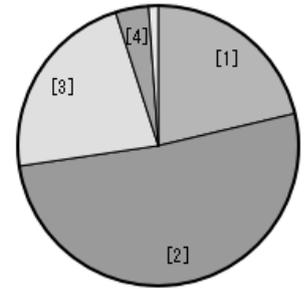


5 本気で勉強している



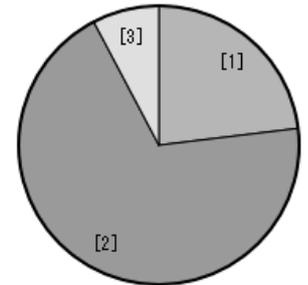
保護者

No. ▲	選択肢	選択数	%	グラフ	凡例色
1	1 そう思う	78	21.3%		
2	2 まあそう思う	188	51.4%		
3	3 あまりそう思わない	82	22.4%		
4	4 そう思わない	14	3.8%		
5	5 わからない	4	1.1%		
合計		366	100.0%		



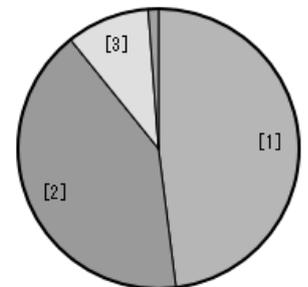
職員

No. ▲	選択肢	選択数	%	グラフ	凡例色
1	1 そう思う	6	23.1%		
2	2 まあそう思う	18	69.2%		
3	3 あまりそう思わない	2	7.7%		
4	4 そう思わない	0	0.0%		
合計		26	100.0%		



児童

No. ▲	選択肢	選択数	%	グラフ	凡例色
1	1 いつもしている	205	48.0%		
2	2 ほとんどしている	176	41.2%		
3	3 あまりしていない	41	9.8%		
4	4 ぜんぜんしていない	5	1.2%		
合計		427	100.0%		

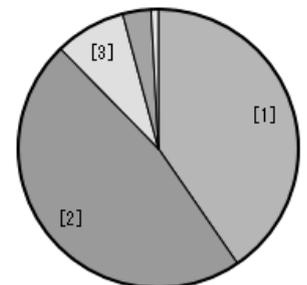


- 学校での様子しか見ていない職員の肯定率と子どもの自己肯定感が高く出て、家庭での様子を見ている保護者の評価が一番低くなっている。学校では本気で頑張っているが、家庭ではリラックスしている様子がうかがえる。
- 保護者の肯定率が 72.7%ということは、本気で頑張っている児童が7割近くはいると捉えてもよいと考える。
- 昨年度と比較すると、児童の数値が大分下降しているのが気にかかる。コロナ禍で行事等がなくなってしまい、モチベーションに影響が出たことは否定できない。

6 喜んで学校に通っている（学校は楽しい）

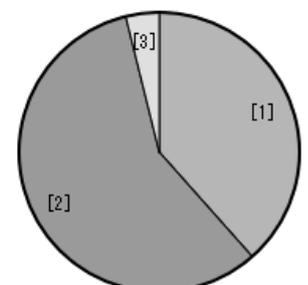
保護者

No. ▲	選択肢	選択数	%	グラフ	凡例色
1	1 そう思う	148	40.4%		
2	2 まあそう思う	173	47.3%		
3	3 あまりそう思わない	30	8.2%		
4	4 そう思わない	12	3.3%		
5	5 わからない	3	0.8%		
合計		366	100.0%		



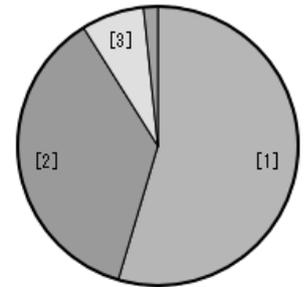
職員

No. ▲	選択肢	選択数	%	グラフ	凡例色
1	1 そう思う	10	38.5%		
2	2 まあそう思う	15	57.7%		
3	3 あまりそう思わない	1	3.8%		
4	4 そう思わない	0	0.0%		
合計		26	100.0%		



児童

No. ▲	選択肢	選択数	%	グラフ	凡例色
1	1 とても楽しい	233	54.6%		
2	2 まあ楽しい	156	36.5%		
3	3 あまり楽しくない	31	7.3%		
4	4 ぜんぜん楽しくない	7	1.6%		
合計		427	100.0%		



- 肯定率を見ると、概ね 90% 近くの値である。子どもたちが学校に楽しく通っている様子がかがえる結果となった。しかし、児童の「あまりそう楽しくない」「全然楽しくない」が 8.9% 38 人いることに対して、職員が個別相談を充実させながら、その都度的確な対応をしていかなければならないと考える。
- 楽しくないと感じている児童が 12% から大幅に下がった。休校で友だちと会えなかったことが、例年以上に「学校は楽しい」と思わせてくれたのではないかと。友との関わりの中で子どもたちは成長をしていることがわかる。

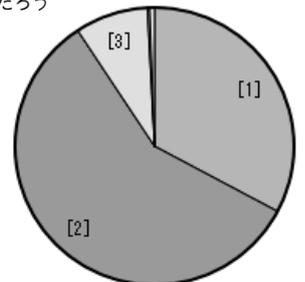


横断歩道は右見て、左見て、もう一度右見てわらう

7 安全に注意して生活している（交通ルールを守っている）

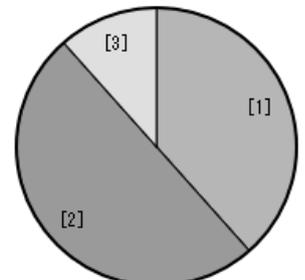
保護者

No. ▲	選択肢	選択数	%	グラフ	凡例色
1	1 そう思う	120	32.8%		
2	2 まあそう思う	212	57.9%		
3	3 あまりそう思わない	31	8.5%		
4	4 そう思わない	1	0.3%		
5	5 わからない	2	0.5%		
合計		366	100.0%		



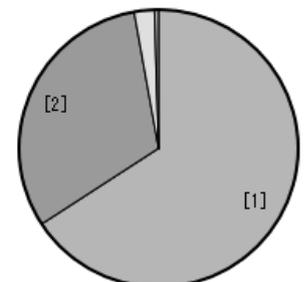
職員

No. ▲	選択肢	選択数	%	グラフ	凡例色
1	1 そう思う	10	38.5%		
2	2 まあそう思う	13	50.0%		
3	3 あまりそう思わない	3	11.5%		
4	4 そう思わない	0	0.0%		
合計		26	100.0%		



保護者

No. ▲	選択肢	選択数	%	グラフ	凡例色
1	1 きちんと守っている	281	65.8%		
2	2 ほとんど守っている	134	31.4%		
3	3 あまり守らない	10	2.3%		
4	4 ぜんぜん守らない	2	0.5%		
合計		427	100.0%		

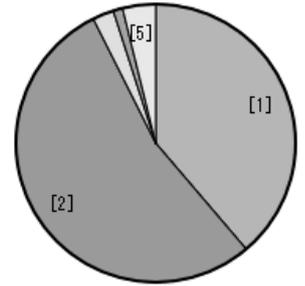


- ルールを「きちんとして守っている」と答えている児童が 65.8% と一番高い。これは「交通ルールを守っているか」という登下校に限定された質問であるためと考えられる。
- 保護者の「そう思う」の値が 32.8% と低いのは、「安全に気をつけて生活しているか」という質問であり、家に帰ってからの遊びの様子も含めて回答しているためであると考えられる。
- 職員は「自分たちがきちんとして安全指導をしているか」という質問であるため「そう思う」「まあそう思う」を含めて 88.5% と高い結果となっている。
- 三者の直接比較は難しいが、交通ルールは守れていても、地域での遊びの中に危険な行為が見られる可能性が高く、職員と保護者が連携して家に帰ってからの遊びに対しても細やかな指導が必要であると考えられる。

8 教師は子どもたちを理解し適切に指導している（困った時相談にのってくれる）

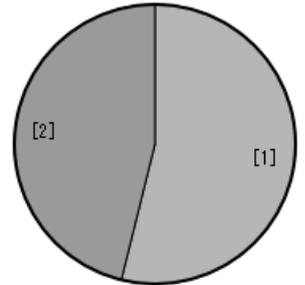
保護者

No. ▲	選択肢	選択数	%	グラフ	凡例色
1	1 そう思う	142	38.8%		
2	2 まあそう思う	197	53.8%		
3	3 あまりそう思わない	9	2.5%		
4	4 そう思わない	4	1.1%		
5	5 わからない	14	3.8%		
合計		368	100.0%		



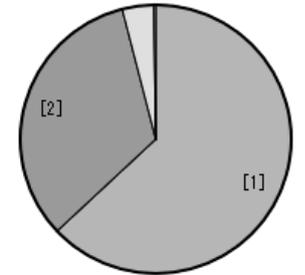
職員

No. ▲	選択肢	選択数	%	グラフ	凡例色
1	1 そう思う	14	53.8%		
2	2 まあそう思う	12	46.2%		
3	3 あまりそう思わない	0	0.0%		
4	4 そう思わない	0	0.0%		
合計		26	100.0%		

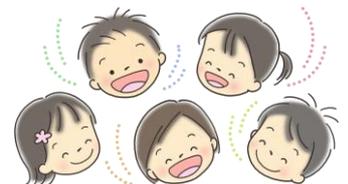


児童

No. ▲	選択肢	選択数	%	グラフ	凡例色
1	1 いつものってくれる	289	63.0%		
2	2 ほとんどのってくれる	141	33.0%		
3	3 あまりのってくれない	16	3.7%		
4	4 ぜんぜんのってくれない	1	0.2%		
合計		427	100.0%		



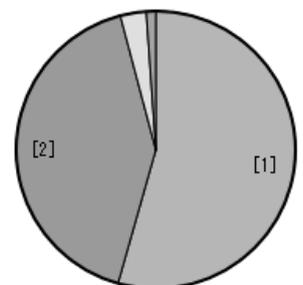
- 肯定率を見ると、職員は自己評価として「理解している」「だいたい理解している」は100%である。
- 保護者の4.9%は「相談にのってくれない」と感じている。
- 児童の3.9%の17人は「相談にのってくれない」と答えている。
- 職員は児童について理解し適切に指導していると思っている。しかし、保護者や児童にとっては満足できていない現実がある。そのことを真摯に受け止め、保護者と連携して子どもたちを理解していく必要がある。



9 学校は学校や学級の様子を地域や保護者に伝えている ※保護者と職員の2者比較

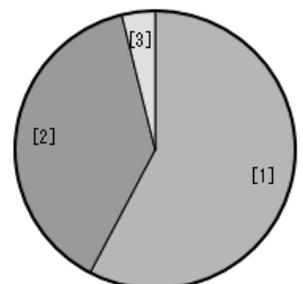
保護者

No. ▲	選択肢	選択数	%	グラフ	凡例色
1	1 そう思う	199	54.4%		
2	2 まあそう思う	152	41.5%		
3	3 あまりそう思わない	11	3.0%		
4	4 そう思わない	4	1.1%		
5	5 わからない	0	0.0%		
合計		366	100.0%		



児童

No. ▲	選択肢	選択数	%	グラフ	凡例色
1	1 そう思う	15	57.7%		
2	2 まあそう思う	10	38.5%		
3	3 あまりそう思わない	1	3.8%		
4	4 そう思わない	0	0.0%		
合計		26	100.0%		

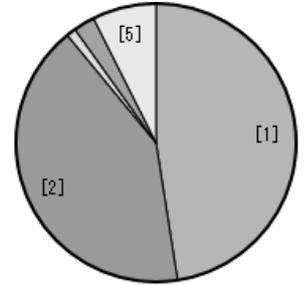


- ・肯定率を見ると、職員と保護者両方とも同じような結果となっている。
- ・保護者にとっては、「お便り」を中心に回答していると思われる。
- ・連絡だけのお便りにならないように、学校の様子を伝えられる内容の充実を図っていく必要がある。

10 学校は体罰などのハラスメントを意識して指導している

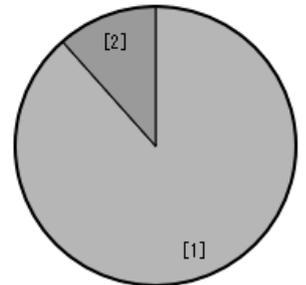
保護者

No. ▲	選択肢	選択数	%	グラフ	凡例色
1	1 そう思う	174	47.5%		
2	2 まあそう思う	152	41.5%		
3	3 あまりそう思わない	4	1.1%		
4	4 そう思わない	9	2.5%		
5	5 わからない	27	7.4%		
合計		366	100.0%		



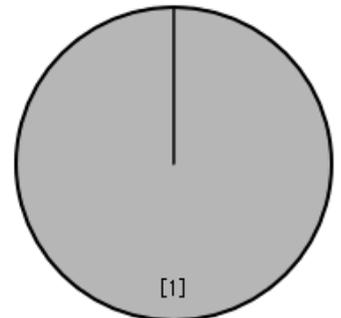
職員

No. ▲	選択肢	選択数	%	グラフ	凡例色
1	1 そう思う	23	88.5%		
2	2 まあそう思う	3	11.5%		
3	3 あまりそう思わない	0	0.0%		
4	4 そう思わない	0	0.0%		
合計		26	100.0%		



児童

No. ▲	選択肢	選択数	%	グラフ	凡例色
1	1 ない	427	100.0%		
2	2 ある	0	0.0%		
合計		427	100.0%		



- ・職員は研修を行い、高い意識をもって子どもたちと接している。しかし、保護者にそのことが伝わっているわけではない。繰り返し研修を行い、児童や保護者に接していくことを続けなければならない。

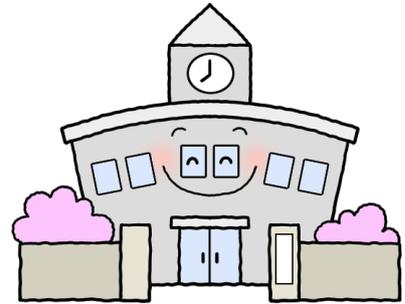
11 どんな子どもに育てほしいですか 《保護者自由記述より抜粋》

- ・人を思いやれる子ども。すなお。やさしい。助け合える。人に優しく。
- ・簡単に諦めないで努力する子。
- ・素直で「ごめんなさい」が言える
- ・自分の意見をはっきり伝える
- ・自分で考えて判断できる
- ・いろいろなことにチャレンジ
- ・助けを求められる、助けてあげられる
- ・健康で心も体も強い
- ・周りに流されず、芯の強い子に
- ・夢をしっかり持つ
- ・仲間を大切に
- ・人の痛みがわかる
- ・物事を俯瞰してみても、知恵のある
- ・人の立場になってものごとを考えられる



12 どんな学校であってほしいですか 《保護者自由記述より抜粋》

- ・安心して通える
- ・いじめがない
- ・子どもも先生もみんなが楽しく過ごせる
- ・子どもファースト
- ・気持ちを尊重し、可能性を引き出してくれる
- ・風通しのよい
- ・のびのびと成長できる
- ・今のままで不満なし
- ・子どもが失敗を恐れない雰囲気作り
- ・個人のレベルに合わせて勉強や運動できる
- ・いじめのない、あっても親身になって対処してくれる
- ・互いを尊重し合える
- ・明るく楽しいながらも、厳しく指導してくれる
- ・助け合ったり、協力し合えたりする
- ・昔風の教育希望
- ・相談しやすい
- ・困っていることを話せる
- ・悪いことはしっかりと指導
- ・いい思い出がたくさん作れる
- ・子どもの気持ちを聞く
- ・平等に見てくれる
- ・地域のみんなで地域の子どもを育てる



<全体を通して>

- ❖ 肯定率における三者比較の結果は、昨年度よりも向上している項目が多かったです。新型コロナウイルス感染症の影響下で行事の精選や PTA 活動の自粛、教育課程の変更がありましたが、その都度、細かく打ち合わせをし、保護者の方、地域の方にご理解、ご協力をいただき、子どもたちの実態に合った教育課程を実施することができました。
- ❖ 「10 教職員は体罰をなくし、ハラスメントへの意識をもって児童の指導にあたっているか」の質問に対して「あまりそう思わない 4」「そう思わない 9」の回答結果については、特に重く受け止めました。職員会議の中で、体罰をおこなわないことはもちろん、教職員が発する「ことば」についても、威圧的、一方的、相手を傷つけることばになっていないか、自身を振り返り、相手を大切にすることを全教職員で確認しました。
- ❖ 「どんな子どもに育ててほしいか」「どんな学校であってほしいですか」の質問に対して、記述していただき大変参考になりました。保護者の方の思いを受けとめ、今後の児童理解、学校づくりに生かしていきたいと考えております。
- ❖ 児童・保護者・学校・地域、これら4者の力が合わさったときに、最大の力が発揮されます。児童の成長を支えるために、よりよい関係づくり、連携に努めてまいります。心配なことや不安なこと等ありましたら、いつでもご相談ください。今後とも、保護者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

